

## 持経宿改築・玄関側の土台・柱・軒桁改築作業など

### その1(宿泊組報告)

◇実施日；平成27年6月16日(火)～18日(木)

◇参加者；棟梁；木下嘉彦、大工；浦東 進、大工；中村良也

山上皓一郎、山上昌子。 以上5名は2泊3日。

### 6月16日(火)

今日は大安吉日である、改築初日に新しい柱を建てるには最も適した日を選ばれた。

棟梁をはじめ5人で二泊三日の泊込みで建前をすることとなった。仕事が終わればささやかな祝杯を上げたいと、その食材と明日の昼食を用意し、更に三日分の食料を準備して9時に出発する。何度も車の腹を擦るのを気にしつつ11時半持経宿に着く。

既に窓枠、壁板が外され桁がジャッキで押し上げられた丸太で支えられ、4本の柱が残っているだけになっていた。

改築と云うのは新築以上に手間が掛かると前々から聞いていたが目の当りに実感をする。土台を取り替えるのにコンクリートの基礎にドリルで穴を開けアンカーボードを打ち込んで新しいボルトを取り付ける作業等もまさに手間の掛かる仕事である。15時30分頃には玄関の柱、土台の柱全てが取替・取付けられた。

降り出した雨の中、延長した庇の柱の組み立てにかかる。

六本の柱を束石に据付け梁を載せ、控え梁で固定する。最後

に中央玄関となる柱に棟梁特製の「飾り桁受け」を組み込み中央の桁を載せて最強の骨組みに仕上がったのが17時丁度だった。

雨、風が入らないように表をブルーシートで囲み、夕食を始めたのが18時、互いの労いと、無事に予定の仕事を終えたことに感謝し、お祝いの乾杯をした。

突如19時過ぎ暗い雨の中、青年がひとり、泊めてほしいと入って来た。我々山彦ぐるーぷの仲間はこの様な戦闘的な山屋には弱い、喜んで食事の席に招き入れた。

(記 山上)

